



第三十七号 平成十九年十一月十日発行

日本短歌大会in岡崎 作左の会協賛で開催

十二月一日(土)午後一時三十分より六ツ美西部学区市民ホームにて、日本短歌協会主催／一筆啓上・作左の会協賛／岡崎市教育委員会後援により表彰式が開催されます。(新聞記事 下欄)

現在、作左の会「ふるさと賞」企画委員の協力を得て準備を進めています。

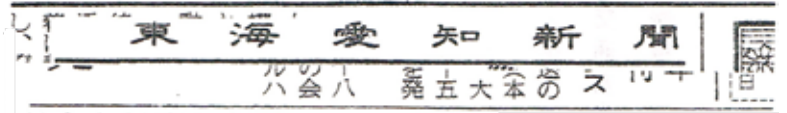
是非、当日の会員みなさんのご参加をお待ちしています。
応募数は全国から540作品集まりました。

「ふるさと賞」も昨年三回目となりましたが、参加数は年々増え続け、作品は冊子としてまとめられ発行されました。応募される人の地区も広がりを見せ、六ツ美西部を中心に、六ツ美全地区、岡崎市全体からも広く応募されるようになりました。更に飛躍して、今回は、全国規模で俳句を除いて短歌のみとなりましたが、

「心と文化の町おこし」が作左の会の合言葉です。

ふるさと賞第4回は、平成20年の秋頃募集、表彰式は十二月を予定します。

2007年(平成19年)8月7日(火曜日)第186号



「日本短歌大会in岡崎」

作品募集 一般とジュニアの部で
日本短歌協会が「日本短歌大会in岡崎」と銘打つ。岡崎市を中心として短歌を募集している。岡崎市六ツ美西部学区の文化振興団体、一筆啓上・作左の会が主催する「ふるさと賞」の審査員の一人が日本短歌協会事務局長

【部門】①一般②ジュニア(小中高学生)
【応募方法】岡崎市役所各支所などに置いてある所定の用紙で事務局へ。応募料は一首につき一般千円(定額小為替か切手)、ジュニア無料。複数応募可
【募集期間】九月十日

【審査員】日本短歌協会の鈴木諱三、甲村秀雄、高橋すみ子、小島賢行の各氏
【賞】①②とも▽岡崎市長賞 ①▽岡崎市議会議長賞 ②▽岡崎市教育委員会賞 ①▽日本短歌

協会賞 ④▽優秀賞 ⑤▽協賛作品数の約一割
【作品送付先】〒444-0241、岡崎市赤浜町上郷中四九ノ三、小島賢行さん方「日本短歌大会応募係」(0564-533056)へ。

【表彰式】十二月一日・六ツ美西部学区市民ホーム